



あに

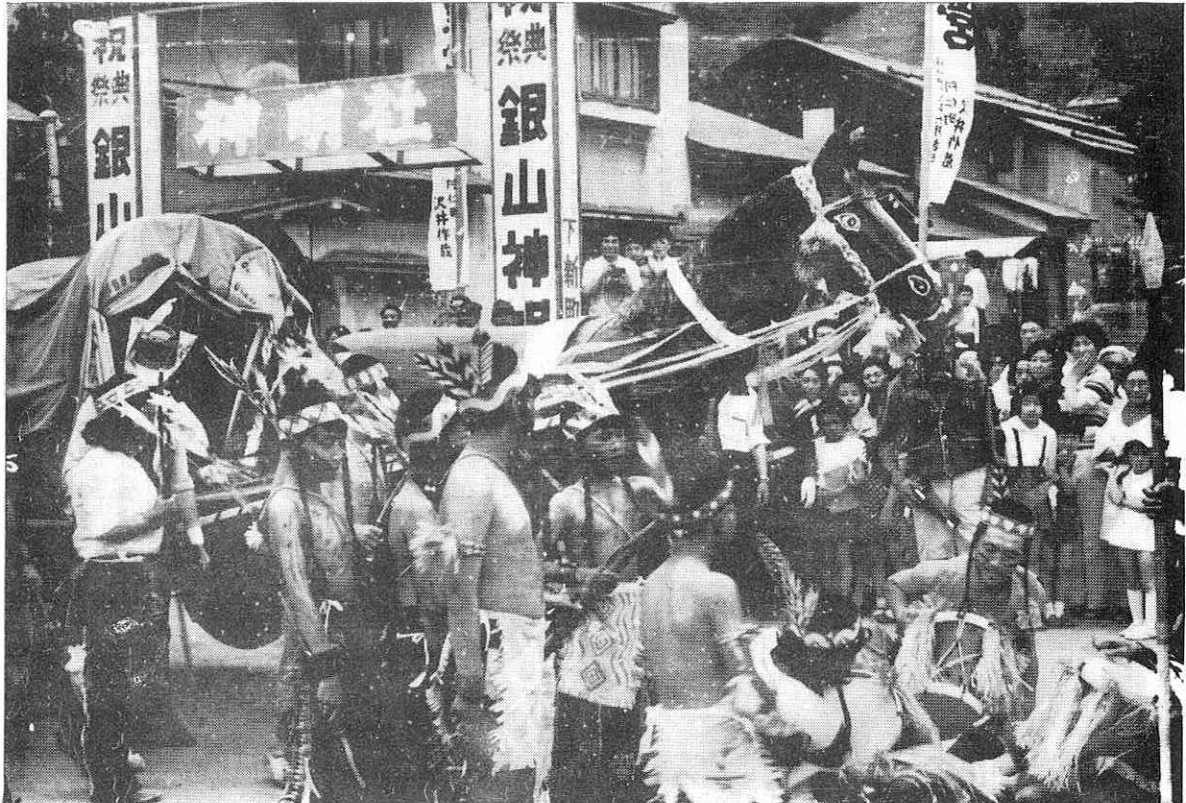
編集と発行 秋田県阿仁町役場総務課

印刷所 秋田県阿仁町水無安東印刷所

143号

'74 7月

頒価 10円



幌馬車、銀山を行く

銀山祭典仮装行列

ふるさとに鎮守(ちんじゆ)の森をと、人間性を古き時代の中に求めようとする声がありますが、鎮守の森といえは欠かせないのがおまつり。

ことしも、恒例の銀山神明社祭典が、六月三十日、好天のもとに、にぎやかに行なわれました。

祭り大鼓や笛の音、威勢のいゝ神輿若衆のワツショイのかけ声、お神楽のあとをこわごわとついて歩く子どもたちの姿は、昔ながらの光景です。

呼びものの仮装行列では幌馬車隊やインディアン、白雪姫、シンデレラという、なつかしい出し物がありまた、新しいところでは小学生によるフィンガーファインなど人気を集め、お祭りにふさわしい大黒舞も出て、観衆のかつさいをあびていました。

ことしからは、祭典の中心地である銀山通りが、歩行者天国として解放されたため、見物人も車を心配することなく、安心して祭り見物ができたと、大好評でした。

銀山祭典が終わるといよいよ夏、水ぬるむ短かいシーズンに、心配なのが水の事故、尊い命がうばわれた悲しい経験を忘れてはならない。

夏バテ予防は、食べることに適当な休養が第一ですお互いに自愛でこのシーズンを乗りきりましょう。

町の人口

7,374人

(24人減)

男 3,527

女 3,847

世帯 1,812

(1世帯減)

転入 10人

転出 36人

出生 6人

死亡 4人

49年6月31日現在住民
基本台帳人口による

病院建設で特別委員会設置

定例町議会

町の六月定例町議会は、二十五日から二十八日までに行なわれ、公害問題を中心に六人の議員の一般質問と、病院建設に関する議案について審議しました。議決された主な内容は次のとおりです。

選挙従事の特別職の報酬を引上げ

選挙の投票開票に従事する非常勤特別職の報酬が次のとおり引上げられました。

(一)内は旧額
 ▽投票管理者、開票管理者 選挙長の一選挙当り日額を三千四百円とする(二千五百円)。
 ▽投票立合人、開票立合人 選挙立合人を二千七百円とする(二千円)

選考立合人を二千七百円とする(二千円)

行政報告

定例会では、町長から次のような行政報告がありました。

四十九年度に予定している事業は、国や県の予算内示が七月となるので、本格的にはそれ以後となる見込である。

国道関係では、湯口内の短絡線は本年度完成の予定であり、七曲トンネルと伏

三万円以上の高額療養費に補助制度

国の法律改正にもとずき七月一日から、高額療養費の補助制度ができました。

これは、同一の月に同じ病院、診療所、薬局その他で診療を受け、三万円以上の療養費を支払った場合に三万円を超えた額については個人負担をさせないというもので、これに伴ない、当町の国民健康保険条例がそのように一部改正になりました。

従つて、国民健康保険加入者は、当然この制度の適用を受けることになりますますくわしくは四頁に関係記事がありますので参照下さい

一般会計の補正

町の一般会計が、三百六

影小学校間も同じく本年度内となつてゐる。

一〇五号の仙北との貫通



は、県では十月をメドにしてゐる。

十九万七千円増額なりました。歳出の主なる内訳は、

- ①簡易水道各戸給水工事費 百七十六万円。
- ②病院患者輸送車購入費百三十六万二千円ほかとなつてゐます。

水道の各戸給水については、当初三万円の工事費といふことで加入者負担をいただきましたが、物価高による資材の値上がりで予定工事費を上廻ることにになりその値上り分の一戸当り五千円を町が支払い、個人負担をしないことにしたものです。

国保会計の補正

高額医療費給付制度に伴なり、財源措置として国民健康保険会計が百四十万円の歳入増となりました。財源は国庫補助と前年繰越しです。

また、鉄道工事は四億の予算がつき、前年残とあわせると五億の予算となる。さらに九月には追加となる見とおしだ。

伏影橋は、水久橋架替が本格的に決まり、現在地質調査中で、五十年には完成の予定である。

医師の確保については、台わんととの接渉の結果、二名の医師の来町が決定し、八月中までにはそろうことになつてゐる。

財産区会計補正 六千九百万円

病院建設費の財源を確保のため、吉田十二ノ沢地内の財産区有林を処分することになり、そのため、同会計は歳入で六千九百十万七千円増となりました。

また、歳出では吉田部落への交付金三千四百四十五万四千円、一般会計繰出金三千二百三十三万四千円が補正となりました。

病院建設は 特別委員会で検討

特別委員会で検討

町立病院を二億八千九百万円の予算で、二年計画で建築したいという提案があり、これに対し、建築場所とか財政的な面で慎重に検討するために、建築特別委員会が九人の議員構成をもつて設置されました。

特別委員会では、先進地視察などを行ないながら、建築に関する結論を七月中にまとめる方針です。

従つて、建設に関する一般会計と病院会計の補正予算案は、けいぞく審議となりました。

この結果については、決定次第広報にて報告の予定です。

請願の採択

生徒の戸外活動促進するため、狭隘な第一中学校校庭の整備拡張をはかれたい。(第一中学校PTA会長 長今井乙鷹)

傍聴席

定例会では、六人の議員から、公害や役場人事をはじめ一般質問がありました。その主なるものをまとめお知らせします。

問 鉱山汚水による鉱害に 関し、被害およびその対策 また、簡水の水質は大丈夫か、住民の健康診断の必要があると思うがどうか。

答 鉱山出水は、現在の地 図にもない旧坑からの突然の出水であつた。汚水の被害は、一部小淵地内で若干 入水した田地があつたが、 実害に及んでいない。県の 汚水分析の結果は、銅分は 基準以上だが、カドミは以 下となつてゐる。簡水の水 質検査も同時に行なつたが 飲料には支障がないという データーであつた。

問 住民の健康診断は、住民 の不安をひき起こすことも 予想され、実施は考えてい ない、将来必要に応じて実 施したい。

答 たとえ、直接的な実害は なかったとはいへ、今後は 常に検査結果を見て連絡と りながら対処していきたい 問 荒瀬川のゴミ埋立地の 環境整備が不十分である。

答 ゴミ敷土をかぶまるよ うにしてゐる、悪臭防止の ためにも、防臭剤散布など で環境整備にとめたい。

問 助役の選任と、職員の人 事異動を行なうべきだ。

答 助役は早く選任するよ う努力してゐる。職員の人

事異動は七月に入つてから 行ないたい。

問 町営住宅の払い下げは 早急に行なうべきである。

答 払い下げ跡地に道路設 置が義務づけられており、 その面での県の認可が近々 あるのでそれを待つてゐる。 また、一部上位で土地売 買の登記が済んでいないと ころもあり、その問題が解 決してからと考えてゐる。

問 向俗の飲料水問題がま だ解決されていないが。

答 簡易水道との関連で、 部落の人と鉱山との間に くい違いがあり、目下接渉中 である。町としても当然円 満解決を図りたい考えだ。

問 中学校ボヤに関連し管 理面の対策と責任はどうか

答 二度と大事を起こさな いよう、人の配置替えをす るなど充分に対処してゐる。 昨年の火災では、県教委よ り減給ほかの処分を受けた 問 上新町西裏線側溝のフ タが壊れて危険である。

答 向山橋の完成で通行量 も増えることであり、予算 とあわせ措置したい。

問 病院建設の財源はどうか、他の事業に影響ないか

答 財産区有林を処分して 自主財源を捻出すが、特 殊財源に頼ることになる。 他の事業を圧迫しないよ う配慮していきたい。

問 出稼者に対し、防止策 より現実の対策がほしい。

答 出稼者のかゝえてゐる 問題点を希望をとりまゝに 対策を講じていきたい。

問 簡水の水質検査を最低 月一回行なうべきだ。

町税収納の立役者

納税組合長会議

昭和四十九年度、阿仁町納税組合長会議が、六月十七日、阿仁町公民館で六〇名の組合長が出席して行なわれしました。

現在、町には七十七の納税組合と、千二百七十五人の組合員が加入してあり、四十八年度中に扱った税額は、一般税および保険税などをあはせ三千五百七十三万円に達し、昨年につづき百分完納を果たしています。町税全体の納入率は年々上昇しており、とくに四十八年度には九九・九六%というかつてない収納率をあげることができましたが、これもひとえに納税組合の協力のたまものといえます。当日は、優良納税組合と

して次の組合の表彰が行なわれしました。

組合名	組合長
大町納税組合	小武海良治
新中	加賀谷直人
積沢	佐藤 芳蔵
打当第三	鈴木 松治
前山	伊東 仙一

健康大学へどうぞ

公民館

自からの健康は自からの手で守る。という意識のもとに阿仁町健康大学が、公民館を会場にスタートしました。

健康大学は、県、町および公民館の共催で、昨年に

つづいての開設ですが、五十余名の受講者が参加しています。

講座の日程と内容を次のとおり予定していますので希望の講座がありましたら受講生以外の方でも、聴講されるようお願いいたします。

- ▽七月二十六日(金) 開講式 心の衛生
- ▽八月二十三日(金) 更年期と婦人の健康
- ▽九月十三日(金) 阿仁町の地区診断と脳卒中予防、高血圧予防食事衛生科学研究所長および科長、鷹巣保健所。
- ▽十月十八日(金) 青空学級、リクリエーション
- ▽十一月八日(金) 秋田大学 茂泉先生 家庭看護の実際、閉講式
- 日赤秋田県支部野村先生 鷹巣保健所長、阿仁町長

9月から年金額が引上げ

みなさんの加入している国民年金がこのほど改正され、9月分の年金額から大巾に上げられることになりました。

まず、70歳以上のお年寄りに支給されている老齢福祉年金は、現在の月5,000円から7,500円に、67歳から69歳までの方に支給されている老齢特別給付金は、現在の月4,000円から月5,500円に引上げられます。

また、身体に障害のある方に支給されている障害福祉年金は、1級が現在の月7,500円から月1万1,300円、2級が月5,000円から7,500円に。母子家庭の方などに支給されている母子福祉年金は、現在の月6,500円から月9,800円になります。

また、拠出制の国民年金については、今年から物価値上げに応じて引上げられることになり、9月分の年金から、現在支給されている年金額には16%を加算した額が支給されることになりました。

なお、年金額が引上げられたことに伴って、定額保険料と5年年金の保険料が、来年1月から現在の1カ月900円から1,100円に引上げられますので、あらかじめ知っておいてください。

医療費三万円以上の個人負担がなくなる

七月からです

国民健康保険加入者が、一人で同じ月内に、医療機関で入院等により三万円以上の自己負担があつたとき三万円を超えた額について本人の申請により、療養費が支給されることになりました。

支払いは、診療明細書によつて行なわれ、約二ヶ月後に償還払いによつて支払われます。

つまり、三万円を越えた額については、国保から支払われることになったもので、七月から実施されています。

なお、老人医療については、いままでと同じく、窓口払いにして、町に対する委任状によつて支払われます。くわしくは役場保健衛生課へおたずねください。

輸血代金を無料化

本年四月以降

昭和四十九年四月一日以降において輸血を受け、その血液代金(自己負担金)を医療機関に支払った場合日本赤十字社がその負担金分をお支払いし、実質的に血液代金の無料化をはかることになりました。

これは、献血された方々の善意を、広く及ぼさうというものです。

手続としては、申請用紙が医療機関、血液センタ

1の窓口にありますので、必要事項を記入し、輸血を受けた医療機関で証明を受けて、都道府県の血液センターに提出することが必要となつています。

くわしいことは、役場福祉課へおたずねください。

社福協に香典返し

早川さん 松橋さん

町の社会福祉協議会に次の善意がよせられました。厚くお礼申し上げます。

○下新町の早川辰男さんから、亡父・車治さんの香典返しとして金二万円。

○比立内の松橋秋元さんから、亡父・竜蔵さんの香典返しとして金五千元。

慶弔だより6月

◎こんにちは赤ちゃん

- | 出生名 | 保護者 | 住所 |
|-----------|-----|----|
| 佐藤 芳(直美) | 新中 | |
| 松橋有美子(武) | 幸屋渡 | |
| 佐藤増美子(孝昭) | 幸屋渡 | |
| 鈴木 一幸(米孝) | 打当 | |
| 野呂 康一(良康) | 水無 | |
| 辻 広光(広) | 湯口内 | |
| 佐藤 奉代(清正) | 大町 | |

◎結婚 おしあわせに

- | | |
|---------|-----|
| (高堰 増子) | 鳥越 |
| (長内 和美) | 大館市 |
| (佐藤 一子) | 比立内 |
| (齊藤 政夫) | 鷹巣町 |
| (加賀谷チエ) | 羽木沢 |
| (春日 長吉) | 森吉町 |
| (魚住 素也) | 下新町 |
| (石上 陽子) | 真木 |

図書をありがと

力弥さんと山本さん

○上新町の一本一江さん(亀川屋の力弥さん)から、現代日本文学全集(五〇巻)と単行本四〇冊。

○下新町の山本エン子さんから春陽文庫二十冊。厚くお礼申し上げます。

本が入りました

公民館ではこのたび、秋田県立図書館から、児童図書二百冊、新刊図書二百冊その他二百冊の計六百冊の本を借りて用意しております。どうぞご利用ください。

町民体育祭

8月18日

第一中グラウンド

成人式

8月15日

町民体育館

- | | |
|---------|-----|
| (沢井 忠之) | 下新町 |
| (伊藤 悦子) | 畑町 |
| (梅井 聖子) | 吉田 |
| (高橋 金一) | 東京都 |
| (杉田 恭子) | 大町 |
| (高橋 金一) | 東京都 |
| (鈴木 栄一) | 大町 |
| (高橋 久子) | 合川町 |

死亡 おくやみ申します

- | | |
|-----------|-----|
| 松橋 竜蔵(67) | 比立内 |
| 松橋朝五郎(65) | 幸屋渡 |
| 柴田 ヌキ(53) | 戸島内 |
| 永井 ミエ(60) | 下新町 |